



荒尾市立荒尾第三中学校 学校だより

# つながる



R7. 6. 28(土) No.8 立野 健一

## 仲間との絆 ～6/17(火)～18(水)1年生集団宿泊教室～



雨の心配もなく（逆に暑さの心配をしましたが）、無事に1泊2日の日程で集団宿泊教室を終えることができました。途中体調不良を訴える生徒もありましたが、大きな事故やケガはありませんでした。トイレ休憩を予定していた農業公園が休館日だったり、昼食時間が少し短かったりというハプニングはありましたが、草千里や火山博物館での説明に興味津々で大きな反応を示すなど、いい学びができました。宿舎での食事の時にふざけている生徒もおらず、後片付けをそこまできれいにするかというくらい頑張っている生徒がいて、本当に感心することが多かったです。しかし、一番の驚きはレクレーションの大縄跳びです。練習時間が50分くらいあったので、「これはもたないだろう」と思っていたのですが……。ものすごい盛り上がりでした。最初の15分くらいはどのクラスも0回で、大丈夫か？と思っていました。あるクラスが最初に1回跳んだ時の盛り上がり方といったら本当にすごかったです。結局7回跳んだ2つのクラスが優勝しましたが、どのクラスも工夫しながら盛り上がれたことが一番良かったです。私は一日目のみの参加でしたので、二日目の様子は分かりませんが、総じていい学びができました。

## 勝敗は細部に宿る～玉名荒尾中体連大会終了～

玉名荒尾中体連大会が終了しました。先行実施の6月14日（土）の外の競技だけが順延となっただけで、本年度は順調に大会を実施することができました。県大会に出場する選手の皆さんおめでとうございます。地区予選なしの合同県大会開催の水泳・新体操・陸上・柔道の選手たち同様、体調管理に気を付けて、玉名荒尾代表としての誇りと、今まで自分たちがやってきたことへの誇りを胸に、堂々と戦ってきてください。皆さんの活躍を期待しています。残念ながら、玉名荒尾中体連大会で敗退し、一区切りがついた皆さん、ここまで約2年半、お疲れさまでした。振り返ると様々なことがあったと思います。いいことばかりではなく、どちらかというとしんどかったこと、辛かったこと、悔しかったことの方が多かったかもしれません。しかし、ここまで続けてきたことが素晴らしいと思います。同じ時間を共有し、同じ景色を見てきた仲間との絆は、一生の宝物になるはずです。勝つことよりもそんな仲間を作れたことの方が、人生にとって大きな財産となり、豊かな人生を歩んでいく第一歩となったと思います。



さて、大切なことはここからです。目標が日々の生活を充実させます。目標がなければ、何となく毎日を送ってしまい、必ず後悔します。私は自分の手帳のいつも見るページに目標を記入しています。その目標を毎日見ること、気持ちを盛り上げたり、怠けなくなる気持ちを奮い立たせたりしています。まずは、各自が次の目標を立てて、そしてその目標を誰かに話してみてください。見えるところに掲示してみてください。そうすれば、自分の進む道を迷わなくて済みますから。これは、1・2年生にとっても同じです。新チームになって、チームの目標、個人の目標を設定すること。出来れば長期目標・中期目標・短期目標の順に設定できれば、実現の可能性も高まってくると思います。

ただ・・・。「勝敗は細部に宿る」。この意味を再確認する必要があります。この勝敗は部活動の勝ち負けだけではなく、3年生の受験にもあてはまります。さて・・・

### 「細部」とは何か？

時間を守れない、挨拶ができない、ルールを守れない、他人の心をわざと傷つけている、すべての結果を他人のせいにして、何のために練習（勉強）しているのか目的意識がない・・・これでは結果は出ないと思います。トイレのスリッパを並べるのに10秒もかからないのに、それを面倒だと思っている生徒が、優勝するための準備に時間をかけて丁寧にやれると思いますか。たぶん厳しいと思います。人はどうしても楽な方に流れてしまいがちです。一人だとそうですが、もし二人だったら？チームだったら？もしかしたら、グッと我慢して頑張れるかもしれません。そのために、目標を立てたあとは具体的に何を継続して行うのか、チーム（個人）で決めてください。そしてみんなで取り組んでください。途中で「自分たちで決めたことをちゃんとやっているか」振り返ってください。その積み重ねこそが、「細部」と言われるものです。それをやり続けた先に結果はついてきますから。自分達が当たり前だと思っていることは、大会等で外に出てみると当たり前のことではなく、他の方々に指導されたこともあったと思います。もう一度、「細部」を見直してみたいかがでしょうか？